

やさしい、風

編集：ボランティアコーディネーター 川井 恵子・澤田 ゆかり 協力：キートスボランティアさん達

ボランティア交流会のご報告

去る7月15日に、キートスで活動されているボランティアさんにお集まり頂き、ボランティア交流会を開催しました。日頃 顔を会わせないボランティアさん同士の交流も図れました。

参加して下さった方々は、縫い物クラブ・ウクレレふるさと・散歩クラブ・ザ・ドングリ・居酒屋キートス・珈琲クラブ・英語クラブ・2F, 3F, 4Fユニットやデイホームのお手伝い・歌の活動等のボランティアさんでした。

はじめに、栗原園長の開会の挨拶があり、続いて立川市社会福祉協議会の安藤 徹さんに、地域福祉コーディネーターのお仕事とはどのようなものか、お話頂きました。

「住民のみなさんと一緒に地域福祉活動をすすめる社会



栗原園長



安藤地域福祉コーディネーター

福祉協議会の職員で、立川市と社会福祉協議会が協働し、市内6ヶ所の福祉圏域に1名ずつ配置されています。

孤立のないまち・住民が心配ごとの解決に参加できるまちをめざして活動をすすめています。」との内容でした。

続きまして、特養生活支援室の鈴木セクションマネージャーより介護保険の改正のお話をして頂きました。

- 主な項目
- ・特養の相部屋に入所する市区町村民課税世帯の方等の部屋代負担の増額について。
 - ・食費・部屋代の負担軽減の基準が変わり、配偶者の所得も勘案される事になりました。
 - ・月々の負担の上限（高額介護サービス費の基準）が変わります。
 - ・一定以上の所得のある方は、サービスを利用した時の負担割合が2割になります。



鈴木セクションマネージャー



休憩後に、まことくらぶのクッキーとお茶を飲みながら、各階のボランティア担当職員も交えて、各グループごとに、今年は3つのテーマを設定し、話し合っていました。

- ボランティアをして良かったこと
- ボランティアをして困ったこと
- 職員に聞いてみたいこと



話し合い後に、各グループごとにどのようなお話が出たか、担当職員の方から発表して頂きました。

良かった点

- ・家に居ると孤立してしまいがちだが、ボランティアをする事で、仲間が出来、話し相手が出来たのが嬉しい、大勢の人と出会える。
- ・入居者さんやご家族に、喜んでもらえる生きがいになり、張り合いが持てる。
- ・色々な情報を得る事が出来、視野が広がり、勉強になる。

困った点

- ・長くボランティアをしていると、入居者の方の体力の低下を感じることもある、何でもやってあげる事が良い事ではないが、どこまで介入して良いのか困る事がある。
- ・職員さんは、いつも大変そうだと思うが、入居者さんの対応で聞きたい事がある時に、職員がなかなか見つからなくて困ることがある。
- ・年齢もあり、自身の体調が心配な点もあり、続けて行けるか考えてしまう。

職員に聞きたい事

- ・活動していて、誰が職員だか分からない、皆同じ服を着ていた方が分かりやすい。
《 各フロアに職員の写真が掲示してあります。 又介護職員は、入居者さんが家庭にいるような気持ちを持って頂けるように、敢えて私服を着ています。事務系職員は至誠ホームのネームの入ったポロシャツを着ています。 》
- ・ボランティアをやりたいという人は誰でも断ることはないのでしょうか。
《 基本的に、ボランティアをして下さる方は、誰でも受け入れています。 》

当日、園長より色々な聞きたい事に対して答えてもらいましたが、ボランティアの皆様より沢山のご意見や感想をお聞かせ頂きまして、大変有意義な交流会となりました。今後に活かして生きていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。なおご質問については、まとめて回答させて頂く予定です。又皆様にとっても介護保険の改正等知って頂き、お役に立っていただければ嬉しいです。困った事があれば、コーディネーターにいつでもご相談下さい。